

学校・保護者・地域をつなぐ・・・

うてよびびけよ 鼓中通信

第18号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して
令和6年1月10日

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

「あたりまえ」に感謝し、飛躍の年に！

今年元旦から、国内でも数日間の短い期間に様々な自然災害や事件・事故が起こり、落ち着かない、不安な空気が流れています。たくさんの方が被害にあわれ、現在も厳しい環境の中で生活している人たちが見えます。こうしてみると、「あたりまえ」に過ごしている日々が、とてもかけがえのないものとなって感じられます。「あたりまえ」だと思っていることは、実は、ひとつも「あたりまえ」のことではなく、特別な素晴らしいことかもしれません。そのように考え、身の回りの一つ一つのことに感謝しながら過ごしていきたいです。

あけましておめでとうございます。

今年辰年。陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がとどのう年といわれています。鼓ヶ浦中学校と生徒の皆さんにとって、大きな飛躍の年になるよう、引き続き、保護者の皆様のお力添えを、よろしくお願いたします。



一を以て十を知る・・・(いちをもってじゅうをしる)



皆さんおなじみ論語の一説です。孔子が子貢（しこう）という弟子に向かって「お前と顔回（がんかいという弟子）のどちらが優れているか」と聞いたとき、子貢が答えた言葉です。「顔回は一を聞いて十を悟りますが、私など一を聞いて二がわかるだけです。」と子貢が答えると、孔子もそれを受けて、「私もお前と一緒に。顔回には及ばないよ。」と答えています。顔回は、孔子も及ばないくらい頭がいいというわけです。

本当の頭のよさとは、テストでいい点を取るとか、どれだけ暗記ができるとかということではなく、一つのことを聞いただけで、「これもそうだな」と類推（似ている点をもとに、ほかの事柄も推理すること）を働かせて理解できることなのです。

3学期は、一年間の総仕上げであるとともに、次年度への準備期間です。また、そのうち3年生は個々の入学試験に向けてのラストスパートです。これまでの復習とともに、今の授業をうけながら同時に復習もしていきましょう。

真剣に集中して聞くことはもちろん、聞きながらほかの事柄と結び付けて、脳をフル回転させていきましょう。考えながら学習していくことが深い理解と本当の賢さにつながります。

3学期は全校で、特に学習に力を入れていきます！！みんなで頑張りましょう！！

◆◆今、注目されている「非認知能力」って…



非認知能力とは、テストの得点や通知表のように数値化できないけれども、学校の教育活動で大切に考えられてきた力です。具体的には、意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力のこと全般を指します。学力（認知能力）と対照的に用いられる言葉です。これらは、「長期的目標の達成」「他者との協働」「感情を管理する能力」の3つの側面に関する思考、感情、行動のパターンであり、学習を通して発達し、それぞれの人生や社会の発展にも関係すると言われていています。幼児期から非認知能力を高めるような教育を受けた子どもは、恵まれた生涯を送るという統計結果も出ています。

予測不可能な未来に生きていく子どもたちにとって、今改めて大切な力として注目されています。本校でも教育活動全般で身につけさせたい力でもあります。学習はもちろん、生徒主体の活動をすすめ、非認知能力の育成に取り組んでいきたいと考えています。

4年ぶりの生徒会研修会開催～12月25日市役所にて

鈴鹿市、亀山市の中学校 13校の生徒会役員が集う「生徒会研修会」に本校からも後期生徒会役員の6名が参加し、「校則の見直し」「いじめ防止の取り組み」という2つのテーマについて意見交換を行いました。

まずは、各校での現状や課題を出し合い、解決策について議論がなされていました。また、他校の状況やアイデアなどもこれからの活動に生かせる具体的なものがあり、大変参考になっていた様子です。



また、当日は司会運営にあたった生徒もおり、コーディネートがとてもうまく、話しやすい雰囲気づくりや、全員で聞くこと、違う意見もまずは受け入れること…など、協議の鉄則も十分できており、感心しました。さすが、市内の代表としての責任をしっかりと果たしていました。最後は前大会での還流でしたが、続々と挙手し、感想を話していました。素晴らしく、大変実りある会になりましたね。お疲れさまでした。



ドラえもん募金贈呈～福祉委員会より

社会福祉協議会の方にお越しいただき、ドラえもん募金の協力金の贈呈を行いました。募金の使い道や、意義についてお話をいただきました。私たちの少しの好意が社会に役立ててもらえること、社会とのつながりを感じることができました。



校則改正にかかわる報告について～生徒会より



昨年度から生徒会で取り組んできた頭髪にかかわる校則の見直しについて、試行期間を経てアンケートの結果を踏まえての報告がありました。校則は私たちの学校生活を守りためのものであるから、安易に変えることは危ないということを実感したこと、また皆さんの協力を得られたからこそ、改正できたという報告がありました。自分たちで、自分たちの生活を本当によりよくしていく活動を目指し、活動を引き継いでくれることを期待します。